

学校教育目標



須和田が丘

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒

令和4年度
学校だより No. 13
令和4年6月27日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

インターネットトラブルの防止について

インターネットやスマートフォンは、安全に正しく使うことができれば、とても役に立つ便利なものですが、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、誹謗中傷やいじめの温床になってしまったりするケースも多く報告されています。また、子供たちが被害を受けるだけでなく、加害者になってしまうケースも生じています。

そもそも、誰でも見ることができるのが SNS の基本です。投稿や、やりとりの先にある、脅迫・ストーカー・誘い出し・投資詐欺などの被害の可能性を忘れてはいけません。

SNS が当たり前の環境で育った子供たちは、ネットで個人情報扱う際に、慎重さに欠ける傾向があると言われます。このため6月20日に、マナーを守って正しくインターネットが利用できるよう、インターネットトラブル防止講演会を開催しました。

また併せて、子供たちを被害者・加害者にならないためにも、私たち大人がインターネットや SNS の現状や危険性を理解し、子供たちに安全に利用するための危機管理意識を育むことが重要です。

このことから、インターネットトラブル防止講演会を録画したものを、YouTubeで視聴できるように作業を進めていますが、現在容量等の関係で作業方法を見直しています。

視聴が可能となりましたらご連絡申し上げますので、その際には是非ご視聴いただき、子供たちと一緒に正しく賢い活用方法について話し合ってくださいと思います。

また総務省では、安心・安全なインターネット利用ガイドとして、インターネットトラブルの事例集を作成しています。事例集より一部抜粋したものを以下に掲載いたしますので、参考にいただければと思います。

家庭・学校が協力し、同じ認識を持って指導・支援を行うことが何よりも大切だと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1 コミュニケーション編 ～予期せぬトラブルに備えて～

(1) グループトークでの友人とのトラブル

○うっかり「？」をつけ忘れたために

- ・Aさんは仲良しグループのトーク画面で、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしまっただけに気づかず、すぐにお風呂に入ってしまった。お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが。誤解を解こうとしても、反応なし。Aさん以外のメンバーは別グループを作り、Aさんは一方的にグループから外されてしまいました。

(2) 自撮り写真の交換に端を発した脅迫被害

○同性のステキな友達だと信じていたのに

- ・好きなアーティストの話題で意気投合した同じ歳のBさんと直接やりとりを始めたCさん。やがて、誰にも言えない秘密も打ち明けられる仲になりました。Bさんから写真が届き、嫌われなくて自分の写真を返信した途端に態度が急変。写真付きで秘密をネットに拡散されなければ裸の写真を送れと脅されました。

2 セルフコントロール編 ～ルールやモラルを守って使おう～

(1) 他者の権利を侵害する投稿・二次利用・ダウンロード

○マンガを撮影し動画サイトにアップロード

- ・人気マンガを読みながら自分目線で撮影した動画を「ネタバレ注意！」と記して投稿したEくん。多くの人が視聴し、感謝のコメントももらいました。その後、動画サイトの運営側から警告を受けましたが、好評なのでそのまま投稿を続けていたところ、Eくんは著作権法違反容疑で逮捕されました。

裏面に続きます

(2) オンラインゲームをめぐるさまざまなトラブル

○アイテム購入は数回だけだったのに

- ・スマホのゲームに夢中のFくん。認証パスワードはお母さんが管理しているため、ポイントやアイテムが欲しいときは相談して解除してもらっていました。ある月、十数万円の請求が来て大慌て。スマホの認証方法を確認すると、パスワード入力後30分間はパスワードの再入力不要の設定になっていました。

3 個人情報&プライバシー編 ~防ごう!悪用・詐欺被害・特定~

(1) 入力した個人情報が目的外で利用?!

○占いサービスで趣味嗜好を入力したら

- ・よく読む情報サイトにあった無料占いの広告が気になったNさん。名前・誕生日・趣味嗜好などを答え、結果の返信先としてメールアドレスを登録しました。その後、Nさんのスマホには占い結果以外にも大量の広告メールが届くようになりました。その内容は、占いの時に入力した好みに合ったものばかりでした。

(2) 投稿から個人が特定されたことによる被害

○おいしい情報をシェアするつもりが

- ・よく行くショッピングタウンでお気に入りのお店を見つけたOさん。親しい人たちに教えてあげようと、位置情報オフで撮影した写真を投稿しました。その後、誰かに後をつけられていることに気づきました。引き金は、Oさんが投稿した写真の背景。場所がわかり生活範囲が特定されてしまいました。

4 情報発信編 ~被害者にも加害者にもならないために~

(1) ふざけなどの不適切な投稿

○悪線路に下りて撮った写真をアップし

- ・Pさん、Qくん、Rくんの3人は、学校の帰りに制服のまま線路に立ち入り、大はしゃぎで写真を撮影。仲間に見せようと、SNSにアップしました。すると、あっという間に特定されて学校名や名前が晒され、警察に通報が。鉄道営業法違反等の罪で家裁に送致され、学校には抗議の電話やメッセージが…

(2) SNS等での誹謗ひぼう中傷による慰謝料請求

○有名人の悪口を再投稿・拡散したら

- ・テレビやネットでの言動が気に入らない有名人の悪口を見つけて再投稿し拡散させたU君。悪口や嫌がらせ投稿はどんどんネットに広まっていき…虚偽の投稿内容により名誉を傷つけられたとして、最初の投稿者だけでなく再投稿・拡散したU君も訴えられ、慰謝料などを請求されてしまいました。